

取組テーマ	関連するSDGs目標	取組内容 (マテリアリティ*1)	KPI*2	2020年					
				対象	2017年 実績	2018年 実績	2019年 実績	目標	実績
I 高品質な製品・サービスの提供	 	1. 世界各地のお客様のニーズを満たす製品・サービス品質の維持向上	①全生産拠点のISO9001認証取得維持 ②製品・サービスの不具合（2014年度比 原単位） ③セーフティセツ資格取得者数（※注1）	①グローバル ②日本 ③日本	①認証維持 ②59% ③509名	①認証維持 ②62% ③634名	①認証維持 ②52% ③791名	①認証維持 ②55%以下 ③800名	①認証維持 ②52% ③845名
		2. 技術開発基盤の強化	発明者数（※注2）	グローバル	122名	138名	118名	240名	148名
II リスクマネジメントの強化	 	3. コンプライアンスの徹底及び腐敗防止	①コンプライアンス体制の運用・維持 ②コンプライアンスに関する研修・教育の実施種類 ③啓発月間の設定・実施 ④内部通報制度の見直し	①グローバル ②グローバル ③日本 ④グローバル	①コンプライアンス・アンケートをグループで実施し状況を把握 ②13種類 ③10月に実施（社内報座談会） ④見直しを2017年度中に行い、2018年4月より運用開始	①GDPR等個人情報に関する対応の実施 ②16種類 ③10月に実施（競争法に関する社内研修実施） ④改訂した内部通報制度の継続運用（グローバル運用を開始）	①期中（10月）に法務・コンプライアンス部門を新設 ②14種類 ③10月に実施（不正事例に関するセミナー実施） ④内部通報制度の継続運用	①コンプライアンスの状況把握・運用検討 ②15種類以上 ③10月に実施 ④制度運用	①グローバル与信管理の運用 ②17種類 ③10月に実施 ④内部通報制度の継続運用
		4. 情報セキュリティ対策の推進・強化	①情報セキュリティ教育受講率 ②標的型攻撃メール訓練実施回数	①グローバル ②グローバル	①受講率77.7% ②訓練1回	①受講率80.5% ②訓練2回	①受講率86.9% ②訓練2回	①受講率100% ②訓練2回	①受講率89.1% ②訓練2回
		5. 事業継続マネジメントの継続的な拡充	①リスクアセスメント実施率 ②サプライヤー被災状況報告訓練実施回数	①グローバル ②日本	①100% ②2回	①100% ②2回	①100% ②4回	①100% ②2回	①100% ②4回
III 取引先との信頼関係の醸成	 	6. サプライチェーンでのCSR調達の推進	サプライヤー訪問率（累計）	日本	全取引先約1,200社に対して、企業間の電子データ交換システム（EDI）およびウェブサイトを通じて周知	訪問率12.7%	訪問率56.7%	訪問率80%	訪問率80%
IV 人間尊重 (人権・労働慣行・安全・健康)	    	7. 事業活動における労働災害・重大災害の根絶	①度数率 ②強度率	①日本 ②日本	①0.61 ②0.03	①1.4 ②0.04	①0.63 ②0.003	①0.19 ②0.003	①0.37 ②0.02
		8. ダイバーシティの推進	①採用者に占める女性の割合 ②女性管理職数 ③障がい者雇用率	①日本 ②日本 ③日本	①8% ②11名 ③1.9%	①11% ②15名 ③2.1%	①10% ②17名 ③2.17%	①20% ②20名 ③2.2%	①11% ②18名 ③2.49%
		9. 働きやすい職場環境の整備	①有給休暇平均取得率 ②健康診断における生活習慣病有所見率 ③従業員意識調査 総合満足度（5ポイント満点）	①日本 ②日本 ③日本	①55.9% ②52.6% ③非対象年	①62.3% ②52.6% ③3.70ポイント	①68.7% ②55.2% ③非対象年	①70% ②45.0% ③3.80ポイント	①71.2% ②65.0% ③実施なし
		10. 人材開発の推進	①TOEICスコア600点以上保持者数 ②グローバル勤務コース認定者数（※注3） ③通信教育（e-Learning）受講者数	①日本 ②日本 ③日本	①121名 ②142名 ③139名	①126名 ②161名 ③101名	①166名 ②189名 ③70名	①200名 ②300名 ③300名	①74名 ②175名 ③85名
V 地域・社会との良好な関係づくり		11. 株主・投資家とのコミュニケーション促進	①非財務情報を盛り込んだ統合報告書発行、ウェブサイト掲載 ②個人投資家向け説明会参加者数	①グローバル ②グローバル	①英文コーポレート・ガバナンス報告書発行済み ②770名	①和英の統合報告書、2018年9月にウェブサイト公開、2018年10月に冊子版発行 ②776名	①和英の統合報告書、2019年9月に日本語版、2019年10月に英語版公開。初のe-book版も公開 ②293名	①アンケート等調査・評価を盛り込み、和英の統合報告書を継続発行 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度のイベントの参加・開催は自粛	①和英の統合報告書、2020年11月にウェブサイトにてe-book版をあわせて公開。 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度のイベントの参加・開催は自粛
		12. 地域・社会とのコミュニケーションと社会貢献活動の促進	社会貢献活動への参加者数	グローバル	社内イントラネットなどを通じて情報共有	1,847名	3,597名	2,000名	2,216名
VI 企業活動を通じた環境貢献	     	13. 事業運営における環境配慮活動の推進	①CO2排出量 総排出量 生産・オフィス（2005年度比） ②CO2排出量 生産・オフィス（2005年度比 売上高原単位） ③グローバルCO2排出量（2011年度比 売上高原単位） ④廃棄物排出量（2005年度比 売上高原単位） ⑤水使用量（2005年度比 売上高原単位） ⑥グローバル水使用量（2011年度比 売上高原単位）	①日本 ②日本 ③グローバル ④日本 ⑤日本 ⑥グローバル	①41% ②51.7% ③48.3% ④61% ⑤34.8% ⑥28.3%	①48.5%削減 ②46.8% ③40.5% ④58.1% ⑤36% ⑥23.2%	①57.4%削減 ②31.9% ③47.5% ④47.6% ⑤30.1% ⑥26.9%	①41%以上削減 ②72%以下 ③50%以下 ④72%以下 ⑤57%以下 ⑥40%以下	①59.1%削減 ②29.0% ③42.3% ④47.5% ⑤23.7% ⑥25.2%
		14. 環境配慮製品・サービスの拡充	①エコプロダクツ認定数（※注4） ②製品・サービスによるCO2削減貢献量（※注5）	①グローバル ②グローバル	①46製品 ②53,327 t -CO2	①54製品 ②63,326 t -CO2	①62製品 ②73,928 t -CO2	①63製品 ②100,000 t -CO2	①70製品 ②72,474 t -CO2
		15. 環境経営基盤の強化	①エコアクション参加者数（※注6） ②D-EMS (Daifuku Eco Management System) の全社展開率（※注7）	①グローバル ②グローバル	①7,474名 ②90%	①6,458名 ②95.3%	①13,403名 ②95.8%	①8,000名 ②100%	①7,122名 ②96.3%

注1：日本認証株式会社が認証する機械の設計者、および製造現場の技術者を対象とした安全に関する資格。

注2：発明を為した者で、且つ特許出願の願書に発明者として記載された者。

注3：海外勤務可能者の認定コース。

注4：ダイフク独自の基準による製品の環境性能評価・認定制度により認定された製品。

注5：社会に存在するダイフク製品・サービスから排出されるすべてのCO2排出量を、基準年度である2005年時点の製品・サービスの環境性能によるCO2排出換算量から差し引いたCO2の量。

注6：社員の自発的な環境活動に対してエコポイントを付与する「DAIFUKUエコアクション」制度の参加者。

注7：ダイフクグループ事業拠点の環境データを一括管理・監視し、環境配慮活動に活用するシステム。

*1：環境・社会・ガバナンスに著しい影響を与え、またはステークホルダーの評価や意思決定に影響を与える最優先で取り組むべき課題。

*2：Key Performance Indicators 目標の達成度合いを計る定量的な実績評価指標。